

千葉大学医学部附属病院で手術を受け、 肝内胆管癌と診断された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年5月8日

肝胆膵外科

肝胆膵外科では、肝内胆管癌に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2002年3月1日～2024年5月8日の間に手術を受け、肝内胆管癌と診断された方

1. 研究課題名

「メカノトランスダクションを介した肝内胆管癌病態形成の解明」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年3月31日

この研究は、千葉大医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

この研究は、肝内胆管癌の病気の成り立ちを明らかにしようとするものです。多くの方にご協力をいただき、肝内胆管癌の腫瘍悪性度がどういう仕組みで悪くなるのかということ明らかにすることを目的としています。メカノトランスダクションとは生体組織が機械的な刺激を感知し、それを生化学的信号に変換する仕組みを指します。これらの過程の中で癌細胞が間質に影響を及ぼすことで癌が硬くなることが知られており、肝細胞癌や乳癌は、より硬い癌は悪性度が高いことが報告されております。しかし、肝内胆管癌においてはこれらのメカニズム解明の研究は行われておりません。方法としては

肝内胆管癌の手術を受けられた患者さんを対象として、診療情報及び病理検査に関するデータなどを収集し解析を行います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、手術の内容、術後経過並びに再発の有無、生存期間、手術の際の残余検体（病理組織）を利用し、得られた病理検査データを使用します。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：肝胆膵外科 教授 大塚将之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部棟臓器制御外科学において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥精司）

肝胆膵外科 助教 仲田真一郎

043（222）7171